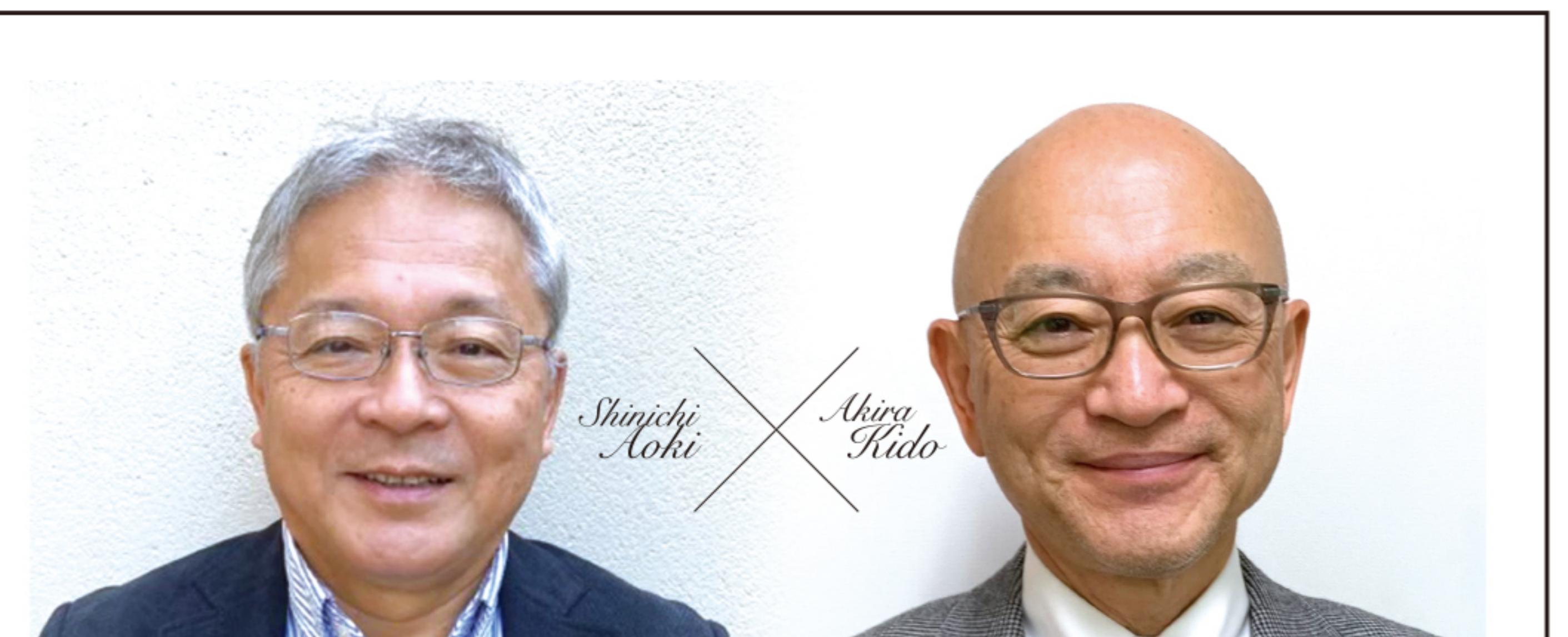


5 国からの交付金は生活困窮者に届くように！

虎の子の資金である国からの1億9,000万円、抽選方式のうれしーと、キャンペーンにほとんど使いました。この資金を使って、泉佐野市のようなPCR検査はできたでしょうし、急増する生活困窮者にも給付金として配布もできたでしょう。高石市が財政的に余裕はないからこそ、もっと使い道を検討していただきたかった。この議案には賛成できませんでしたから、せめて、全市民に買い物券3,000円を配布し、キャンペーンに参加したくてもできない市民にも支援が届く修正案を提出しましたが、結果は賛成4名（山敷、明石、松田、木戸）のみで議会に否決されました。したがって阪口市長にこの訴えは届きませんでした。



臨海部の石油流出の対応

大阪大学の青木伸一教授とのトークショー

開催日時 12月12日(日) 開演予定…10:00 終了予定…12:00

開催場所 パンセ羽衣 (羽衣公民館)学習室+会議室
高石市羽衣1丁目11-22 TEL:072-265-3227

講演者 大阪大学 大学院 教授 青木 伸一
高石市東羽衣在住。大阪大学大学院工学研究科修了、豊橋技術科学大学教授を経て現職。
専攻は、海岸工学、沿岸防災、沿岸環境。国土交通省海岸委員会委員。

進行役 高石市議会議員 木戸 晃
中央大学法学部法律学科卒、商社伊藤萬株式会社勤務を経て市議会議員に。
特別養護老人ホーム及び小規模多機能型居宅介護施設 理事長を兼任。
東日本大震災復興支援として企業とコラボしてコンテナハウスを寄付。
現在も大船渡市でコミュニティーカフェとして運営中。

当日はマスク着用をお願いいたします。
またコロナ感染状況が悪化した場合は順延いたしますのでご了承ください。

以上で9月議会報告を終了します。
最後までお読みいただき、ありがとうございました。

連絡先 〒592-0003 高石市東羽衣1-16-19 木戸あきら事務所 072-261-7801(TEL/FAX)

議会関係は、フェイスブックを一番使っています。ご覧下さい! 公式サイト [木戸あきら](http://kidoakira.com/)



高石市議会議員 木戸あきら の議員報告 市民主役宣言!

経歴

東羽衣小学校～中央大学法学部卒、商社勤務後現職、
他に社会福祉法人理事長、大阪ベイエリア NATECH 会員

議員歴 高石市議会議員(4期目)

会派 “市民の声” 所属
(木戸あきら・山敷めぐみ)

世間は久しぶりの外出ムード、しかし行政は危機管理を怠るべきではありません。
国もワクチンの効果が薄ってきたので3回目の接種を決めました。市民主役宣言！12月号では、
高石市行政の感染予防の考え方が現れていた9月議会の報告をします。

- 1 令和3年7月、泉佐野市は希望する泉佐野市民へ泉佐野市が費用を負担して
“PCR検査”を実施開始しました。高石市は、せっかく診療センターを公立で
持ちながら、泉佐野市のような無料PCR検査をしないが、その理由は?
…と質問しました。

保健福祉次長からの答え：無症状感染者へのPCR検査は市民が自費できる。

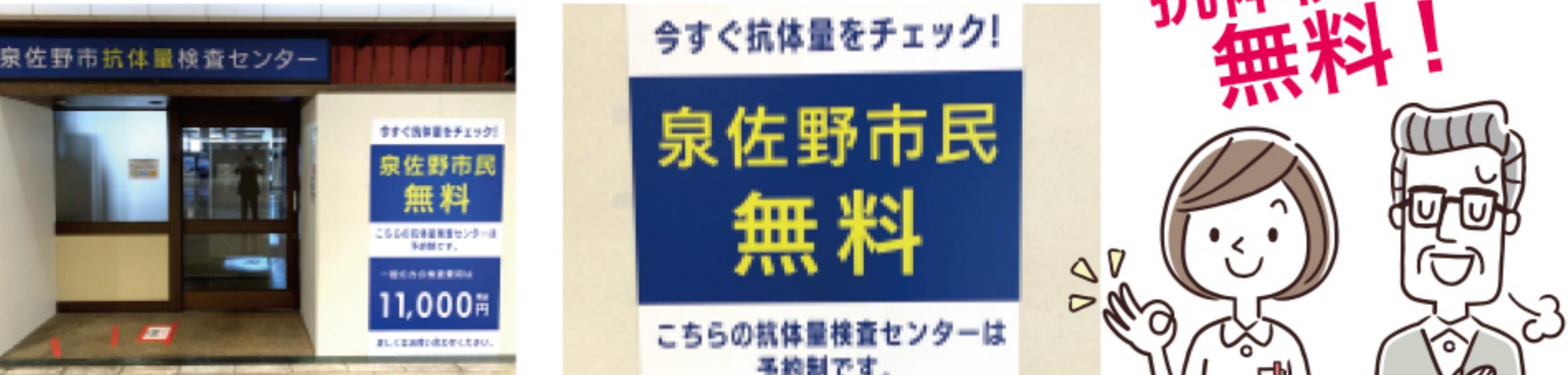
保険福祉部長からの答え：大阪府の保健所と協議した結果、高石市では必要なし。

阪口市長からの答え：保健医療センターには高齢者施設、病後児保育施設などあって
感染するリスクがあるからPCR検査は行わない。

PCR検査センター泉佐野



泉佐野市抗体検査センター



泉佐野市民からの声を聞きました「変わりました、泉佐野市は！」

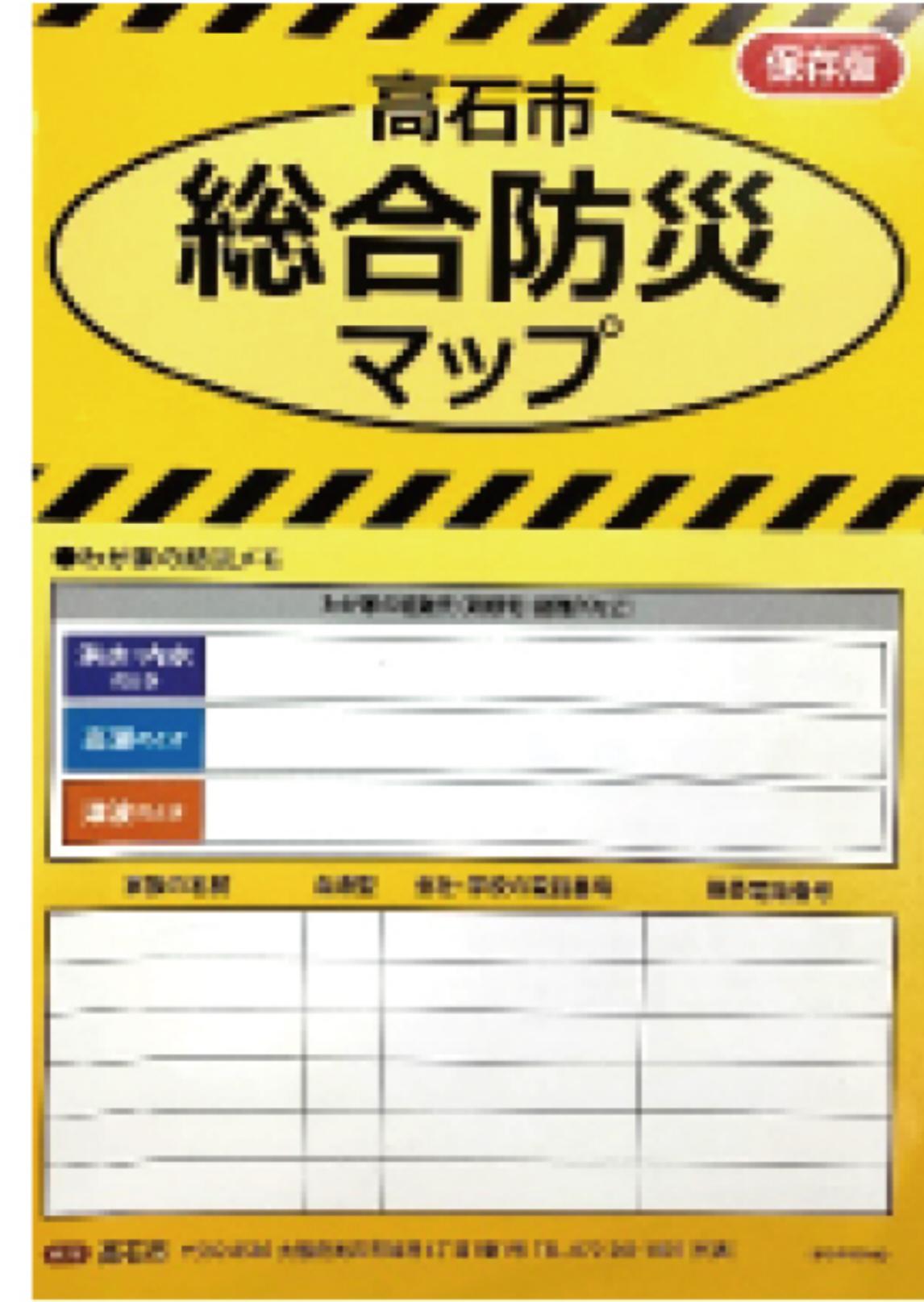
國も国民にPCR検査の陰性証明を求める時、無料でPCR検査してもらえる泉佐野市民と、自費する
しかない高石市民、住む市によって市民サービスに差があることを痛感します。

私は介護施事業者として公費により18回(R3.11.1時点)のPCR検査を受けさせていただいている、
自費でならこれだけの回数の検査は続けられなかったと思います。検査前と今では安心感が違います。高石市
民の皆様にも安心感を経験していただきたい。行政の再考を期待します。

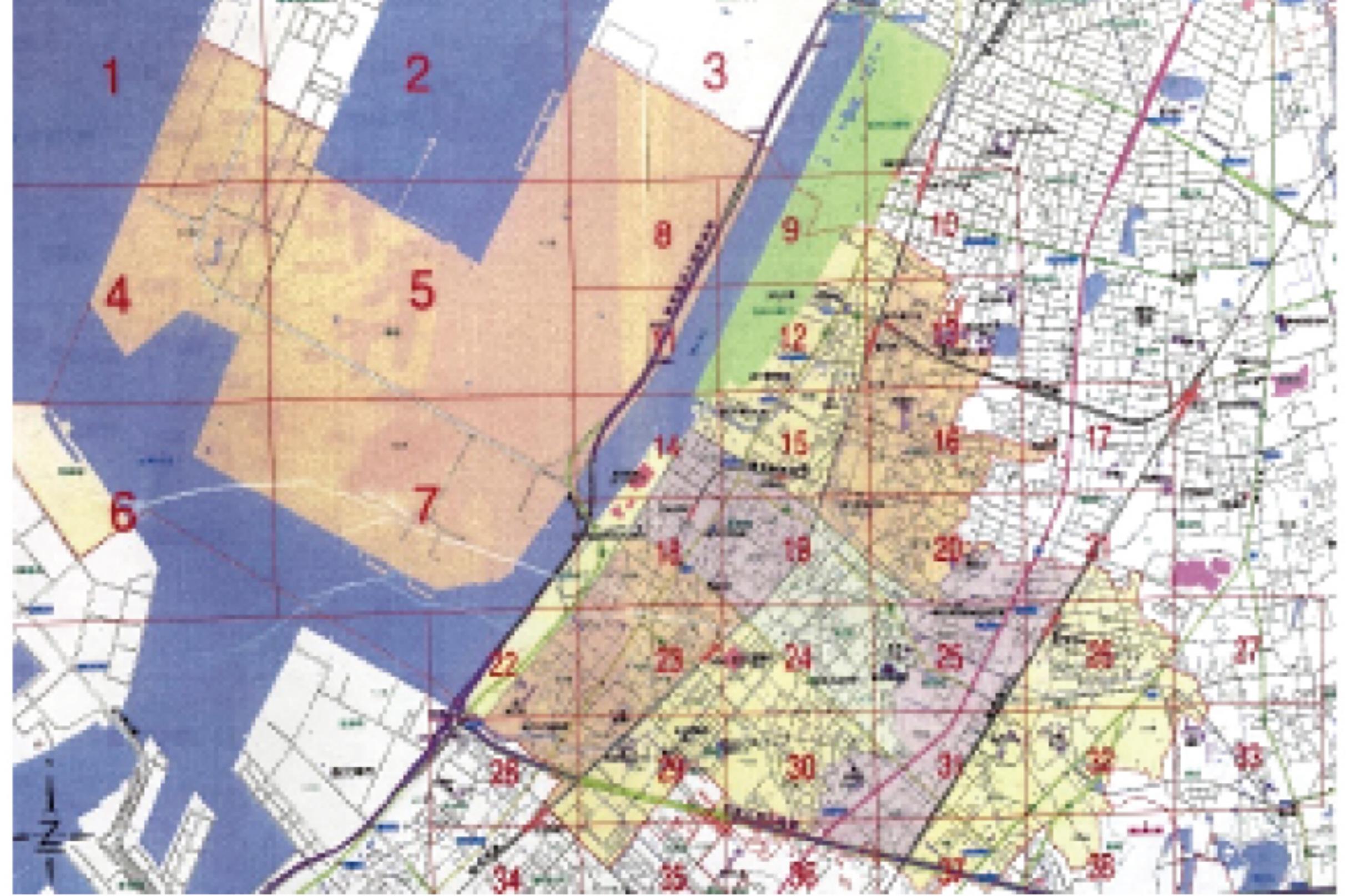
(中面ページもご覧ください)

2 高石市総合防災マップになぜ「石油コンビナート発災」がないのか？

南海トラフ大地震と大津波は必ずやってきます。高石市の西に位置する石油コンビナートの防災対策が南海トラフ大地震対策の要だといつても過言ではありません。しかし、高石市民の皆様に配布されている高石市総合防災マップに石油コンビナートからの発災に関するコメントは一切掲載されていません。その理由を質問しました。



高石市総合防災マップ



高石市全域マップ: 市域面積の半分は石油コンビナート

「石油コンビナートは大阪府の特別防災地域で 高石市の管轄ではない。私は高石市の行政をします。」

との趣旨のお言葉を市長からいただきました。

石油コンビナートは大阪府の防災管轄ですが、そこを一歩出たら高石市の防災管轄。津波が来襲し海水が石油コンビナートに入ったあとは必ず浜寺運河に出てきます。その時その水は石油を含んだ水に変容していますから、高石市住居地域へは火災の波となって押し寄せてくることは想像できます。そのシミュレーションが「総合防災マップ」に必要ではないか?今からでも「総合防災マップ」とは別に「石油コンビナート防災マップ」を作り、直ちに全高石市民に配布するよう改めて要望しました。

以下の要領で石油コンビナート防災市民講座を再開します

12月12日(日曜日)10時00分～パンセ羽衣学習室にて



大阪大学の青木伸一教授とのトークショー。
当日はマスク着用をお願いいたします。
またコロナ感染状況が悪化した場合は順延いたしますのでご了承ください。

開催日時 12月12日(日) 開演予定…10:00 終了予定…12:00

開催場所 パンセ羽衣 (羽衣公民館) 学習室+会議室

講演者 大阪大学 大学院 教授 青木 伸一

進行役 高石市議会議員 木戸 真

当日はマスク着用をお願いいたします。

またコロナ感染状況が悪化した場合は順延いたしますのでご了承ください。

右図は6年前の市民講座案内です。
いまだに満足のいく情報をいただけていません。
高石市民の皆様のお力を頂戴できませんか?
高石市に対してご助言いただければ幸甚です。



3 議員の定数削減について。

「議員定数削減をしてください!」…コロナのような市民にとっての困難事例が続くと必ずこのご要望が出てまいります。また、議員定数削減を公約にするとその候補者は当選しやすいので過去から選挙に利用されてきたテーマもあります。ここでは以上のような感情面、選挙手段の側面は横におかせていただきながら、議員定数削減をすべきでない理由を述べます。

高石市政の運営者は市長と議員です。「市長だけでいい、議会での質疑には時間がかかる」とのお考の市民もいらっしゃいますが、民主主義は、たとえ時間がかかるても独裁政治に陥るより良いと考えて設計されています。市民の多数から信頼された市長であっても時とともに権力のとりこに変身してしまう例はたくさんあります。民主主義は市民が選んだ市長に対しても全権を与えず、市長に与えた権限をチェックするために議員を用意しました。

これを2元代表制と言いますが、執行権を握る市長は一人、議員は16人中の1人。市長と議員とでは圧倒的に市長の権限の方が強いので、議会が自ら議員定数を減らすことは強い権限を持つ市長をさらに強権にすることにつながります。結果として、行政に都合が悪いことは市民に知らされない状況になります。



行政から聞いたことをうのみにする議員もいますが、一方で、チェック機能を果たそうと自力で質問を組み立てて議会に臨む議員もいます。そういう議員を獲得するために議会は門戸を広く開けておく必要があります。民主主義を守るためにクリティカルシンキング(批判的考察)は世界の常識です。行政に忖度しない自立した市民の皆様に新しく議員になっていただきたいと思います。

4 子どもたちにはまず教養! タブレット、オンライン、を急ぎすぎないように!

昨年11月、国のGIGAスクール構想で配布されたタブレットによる書き込みで小学6年生の学童が亡くなっていました。報道によると、IDは出席番号、パスワードは一本化、このことにより誰もが誰にでもなれたので起きた不適切な書き込みによるいじめでした。



高石市は他の自治体に先駆け国 GIGAスクール構想を推進しています。その結果タブレットも令和2年度は4,800台が学童に配布されていますので、高石市教育委員会での管理対応を確認しました。高石市教育委員会では、IDもパスワードも類推困難なものを設定していて、QRコードによるログイン実施で対策しているので心配はないとの回答を得ました。私は、念のため、タブレット配布に伴い、学習ドリルのアプリだけでなく、いじめ防止シミュレーション動画もソフトに加えるよう要請しました。